

---

# オレが小学生の頃に書いた作文を忠実に再現したもの

シー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オレが小学生の頃に書いた作文を忠実に再現したもの

### 【Nコード】

N6485P

### 【作者名】

シー

### 【あらすじ】

オレが小学生の頃に書いた作文を忠実に再現したもの

(前書き)

読めば死ぬ。オレがね。

タイトル『きずな』

ぼくは、六年生になっていまままで思っていなかったことや、いろんなことを学びました。

先生には人権のことをとくに言われました。

友達を傷つけられれば傷つけるほど、相手では無く自分も傷つくのだ。六年生は最高学年で尊敬される生活環境がふつうだけれど、いきなりそんなことを言われてもすぐには、できませんでした。

いじめられている人を見てみぬふりをしていたりして、毎日のようにくり返されていた。

社会で歴史の勉強をして、自分だけは、どのようなことをしてもだいじょうぶと思っっているような人間には、なりたくないと思いませんでした。

でも今はこういうことなんだ。

友達、仲間のきずなをふかめるためによくレクリエーションをやりました。

サッカー大会でよく負けて皆にどやされていたけど、トーナメントでとにかくやる。

と、いうようなことを思い、よく練習をしてなんとか決勝戦まで行けてました。

「がんばれ。みんながんばれ。」  
みごと優勝しました。

ぼくは、チームワーク、仲間を信じればなんにでもたちむかえることを教わりました。



(後書き)

ちゃんと行頭空けしてたんだな

あと、この作文の感情表現は全部嘘で本心は何一つとして書いてない。

『きずな』なんて一切信じてないなし、タイトル名としてカッコいいから名付けただけ。

サッカー大会なんぞ、うんこだと思ってたし、ミスして皆にどやされて憎悪しか感じなかった。

チームワーク？ なんじゃそりゃ！？ 糞が！！ という感じ。

練習なんぞ一切せず棒きれの様に立たされてゴールの壁になってただけ。

「がんばれ！ がんばろう！」なんてて思うはずも無く、早く授業の終了の鐘が鳴る事だけを祈ってた。

被害妄想の塊で『信じればどんな困難にも立ち向かえる』とは間逆の発想してて、信じれば痛い思いをするだけか思ってた、親しい人1か2人以外の人は極力関わろうとしかなかった。というか病んで『どんだけ頑張っても関われない』という絶望感じてて、追い込まれた心理状態にいた。

苛められてる人を見てみぬ振りをしていただ！？

オレが苛められて見て見ぬ振りをされてたんだよ。

なんで、自分の作文で嘘ついてまで綺麗ごと書かされんといけの？

思い出したら腹が立つね。けど、笑える。

歴史の勉強して自分勝手な独裁者（ヒトラー等）を知り、そういう人は悪い存在・・・みたいな表現してるけど、それは隣に居た人が書いてた文章を拝借しただけに過ぎない。

その人は『算数の勉強が苦手で・・・』とか書いてあるから、「じやあ、オレは歴史にしとくか！」という考え方でとりあえず書いた。

で、とりあえず、書く事が思いつかないから、とりえず先生の期待する綺麗ごとを書いた。

深く読解すると、この作文は意味ありげな文章だけど、書いた本人は歴史とか全然意味が判らない。

オレの歴史は平均40点レベルだったから、ヒトラーとか独裁者とか全然知らないよ〜

「自分だけは何のようなことをしても大丈夫」と思う人物は、ジャイアンくらいしか思いつけない。歴史についてとその後の文章は何ら関係性がない。

よって『でも、今はこういうことなんだ』の一文の意味も全く判らんで書いた。

オレはその時、『それにしても、今は、どういうことなんだろう？』という感覚にいて、自分でも何を書いているのかさえさっぱり判らないのえり。その思いを払拭する為に『でも、今はこういうことなんだ』と自分に言い

とりあえず書いてみて筆が、とりあえず止まった。

『でも、今はこういうことなんだ』と自分で書いて何がどういこと事かは判らんから、ずっと、「どうい事なんだろうか？」と自分に問いかけて、答えが判らないま、無駄な時間を永遠とくり返し

た。

そして、そのまま書けなくて居残りさせられて、最終的に先生に促された。

「レクリエーションでも書いたら？」とか「さっかーについて書いてごらん」と言われ、それを元に、なんとなく綺麗ごとになりそうな文字を並べてみた。そしたら花丸くれて、やっとこ束縛から解放されたのね。

辻褄が合わない事にすら気付けない読解力で、何が何だが判らないまま、先生は花丸をクレタのだが、先生はどういう心境だったのだろうか。

愛があるのか無いのか・・・国語力でどうにも成らん生徒を国語でどうにかしようと言うのが根本的に、おかしいと思う今日この頃である、



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6485p/>

---

オレが小学生の頃に書いた作文を忠実に再現したもの

2011年1月9日01時54分発行